

高砂熱学工業



制限

- 4月中に計画停電を原則廃止
- ▼供給増加策 (東電管内500万キロワット)
- 火力発電所の復旧・立ち上げ
- ガスタービンなど緊急電源の新設
- 自家発電設備を持つ企業からの購入
- ▼需要抑制策 (同1000万キロワット)
- 大口の事業者に「電気の使用制限」を適用。夏場の平日午前10時～午後9時に瞬間最大電力を25～30%削減
- 小口の事業者は20%の削減を目標
- 家庭は15%の削減を目標

電気が500キロワット以上の大口需要家に対して強制的に使用最大電力を制限。7～9月の平日午前10時～午後9時に一瞬でも使用量を削減する。家庭・個人に対しては15%程度の削減を促す。自治体や学校と連携して節電意識を徹底するほか、野球などテレビ中継の時間調整や電力需給対策をとってきた。

00億円のエンジン部品メーカー、リケンが被災し、トヨタなど国内12社

ため複数の部品メーカーに発注を分散するなどの対策をとってきた。

障が出る恐れのある部品は500種類、約200事業所にのぼる。

4～5次下請けまである協力会社の被災状況を把握するのは困難だ。「樹

知った」(大手部品メーカー幹部)という声も出ているほどだ。

確認作業を続けている(日産幹部)。「部品在庫が切れる6月に危機が

▼電気の使用制限 気事業法27条に基づいて、企業など大口利用者が使える電

り、ピーク時の使用電力に上限を設けることができる。違反時の罰則も定められている。

一タの表示でも協力を呼びかける。供給上積みでは、ガスタービンの新設などを進

める。大震災で落ち込んだ供給力を補うための設備導入を環境影響評価(アセスメント)法の適用外にするほか、大気汚染防止法の緩和などを検討する。被災した火力発電所の復旧や再稼働も急

踏まえて判断する。

汚染水の経路特定

福島第1 薬剤注入、流出量減る

東京電力は5日、福島第1原子力発電所から海へ流れ出している高濃度の放射性物質を含む汚染水の流出を防ぐため、土壌を固める薬剤(土壌固化剤)の注入を始めた。

汚染水が2号機の取水口付近で電源ケーブルを収めたヒット(立て坑)下部の石の間から流出して

いると特定。東電によると、薬剤の投入で漏れ出す量の減少がみられるが、流出は続いている。

流出を防ぐため、東電は約1万2千リットルの薬剤を注入している。このうち1500リットルは5日午後3時すぎから投入した。汚染水の流れを目視で確認したところ、若干弱まったようだ。

魚介類への規制「野菜と同一に」放射性物質で枝野長官

枝野幸男官房長官は5日の記者会見で、魚介類

今夏は、東北電力でも最大330万キロワットの電力供給が不足する可能性がある。東北電の管内でも、大口需要家の瞬間最大電力の削減などを実施する。被災地を対象にするかどうかは、復旧状況を踏まえて判断する。

最大330万キロワットの電力供給が不足する可能性がある。東北電の管内でも、大口需要家の瞬間最大電力の削減などを実施する。被災地を対象にするかどうかは、復旧状況を踏まえて判断する。

踏まえて判断する。

踏まえて判断する。

高濃度汚染水の移送急ぐ
東電補償、「線引き」が課題
IMF、資本規制を容認
東レなど、サウジで炭素繊維
味の素、アフリカ・中東開拓

総合
経済1
国際2
企業1
企業1

WORLD MARKETS		
日経平均株価	96.(-1)	
NYダウ	1万242(+2)	現地正午
円相場 対ドル	84円34	
円相場 対ユーロ	119円63	
長期金利	(-)	10年国債利回り 313回債 日本相互証券
ドバイ原油	113.45~(+)	現物、FOB、1バレル、6月渡し

東日本大震災被害状況
死者 12,431人
行方不明 15,153人
建物被害 207,462戸
(注) 5日午後8時現在、警察庁まとめ

日経電子版
http://www.nikkei.com/
お問い合わせ (7:00~21:00)
0120-24-2146

地球環境
大切に
エネルギー
ものづくり集
世界にはばたく
バブコック
http://www.bhk.co.jp

競の軸を支える
IKO
Innovation, Know-how & Originality

復興という名の難事が待

側でも放射性物質の拡散を防ぐ「シルトフェンス」というカーテン状のフェンスなどを設ける。2、4号機の取水口近くにそれぞれ設置する予定で、9～10日に作業を終える計画だ。一方、「低レベル放射性物質」を含む汚染水の海への放出は5日も続けた。

内閣府によれば、今回はそれぞれの組織が判断したもので、内閣府でもいつまで区切らず「当分の間」続けるという。

春秋
アメリカでは日本よりずっとたくさん国旗を見かける。10年前の9月24日、ニューヨークの繁華街でそれまで半旗だった星条旗が再び高く掲げられた。同時多発テロの13日後である。当時の本紙は「これでようやく再出発だ」という市民の声を伝えている。